

令和4年度 伊丹市立伊丹特別支援学校経営方針

学校教育目標
豊かな心、たくましく生きる力

めざす学校像

- 子どもたちが大好きな学校
- 保護者が安心して子どもを通わすことのできる学校
- 教職員がやりがいを感じ、チームで協力できる学校
- 地域の特別支援教育を推進できる学校

めざす教職員像

- 学ぶ姿勢を持ち続け前向きに職務に取り組む教職員
- 説明責任と結果責任を果たすことへの意識を持つ教職員
- 子どもに愛情を持って接し、保護者との連携を大切に、子どもへの適切な指導支援を工夫改善していける教職員

めざす児童生徒像

- 明るく（明朗）
- やさしく（誠実・協力）
- たくましく（自己実現・自主自立）

◎ 本年度の重点目標

- ① 児童生徒の実態把握を適切に行い、自立活動の充実や授業改善に務め、類型を意識したカリキュラムマネジメントを進める。（教務部、研究部、自立活動部の連携協力の推進）
 - ・ 個別の教育支援計画、指導計画を保護者と共に作成し、授業や学校生活等に活かす。
 - ・ 児童生徒の課題に応じた授業内容や授業形態、教材を工夫し、R-PDCA サイクルで授業改善を図る。
- ② 卒業後の進路や生活を見据え、肢体不自由特別支援学校としての取組の充実と地域への発信の強化
 - ・ ICT 機器や社会資源など様々な支援を活用し、キャリア教育の視点を持った指導の充実を図る。
 - ・ 交流及び共同学習を進め、児童生徒の豊かな人間関係を形成するとともに、特別支援教育への理解と啓発のため積極的に情報発信を行う。
- ③ 安全で安心な学校づくり
 - ・ 児童生徒への防災教育を通じて安全への意識を高め、防災計画を見直し BCP を作成する。
 - ・ 児童生徒の健康や身体状況を的確に把握し、看護師や教職員が連携し、児童生徒への医療的ケアを安全に行えるようにする。
 - ・ 連絡帳やホームページ、オープンスクール等、保護者や地域へ情報を発信し、開かれた学校作りを目指す。
- ④ センターの機能の充実
 - ・ 市内幼小中学校との情報交流や、本校で開催する実践講座・自主研修会・研究会等への参加を呼びかけ、市内学校園の特別支援教育推進力を高める。
 - ・ すべての教職員がそれぞれの立場で「センター的役割」を意識し、実践する。
- ⑤ すべての教職員が学校課題を意識し教育目標の実現のため、「チーム伊丹特別」として連携協力し学校課題に取り組む。
- ⑥ ゆとりと愛情が感じられる職場づくり
 - ・ 週に1度の定時退勤日を意識し、ライフワークバランスをはかる。
 - ・ チーム学校として教職員が協力し、お互いに認め合い高めあえる関係を築く。